

カンガルー療育支援室 川崎ステーション 児童発達支援・放課後等デイサービス（重症心身障害児・医療的ケア児）支援プログラム

作成日：2025年12月1日

法人（事業所）理念		「保護者と共にいきいきとした子どもの豊かな未来を育む」を理念に掲げ、子どもたち一人ひとりをしっかりと見つめる温かい療育を行い、子どもたちの成長を保護者と共に喜び分かち合う		
支援方針		1. 療育サービスを通じ「一人ひとりが自分らしく、将来に向かって羽ばたける」サービスを提供する 2. 医療的ケアの必要な重症心身障害児を積極的に受け入れ、すべての子どもたちが健やかに成長するための適切な環境を等しく確保する 3. 子どもたちのご家族及び地域と共にオープンで参加型の施設運営を行うとともに自治体・療育センター・子ども子育て支援事業を行う様々な社会資源と密接な連携に努める 児童発達支援：遊びの中から他者（おともだち・スタッフ）の存在を意識し、家庭以外の場所で児童一人一人の豊かな自己表現を引き出す 放課後等デイサービス：家庭・学校以外の居場所としてリラックスした空間を提供し、その中で様々な遊びや活動を体験しそれぞれの子どもたちの世界観を広げる 学校内外のお友達、療育スタッフとコミュニケーションを構築しながら、今後の社会参加に向けて自己選択が可能なスキルを獲得する。		
営業時間		9 時 30 分 ~ 18 時 30 分	送迎実施の有無	あり なし
		支援のねらい		具体的な取り組みの例
本人支援 （5領域の視点）	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 身体状態の安定・生活リズムの習慣化・愛着関係の安定 適切な医療的ケアの実施 感染症予防等の衛生管理・安全管理 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人に応じた適切な健康管理（検温やバイタル測定・睡眠・食事・排泄等の生活における支援） 具体的な医療的ケアの実施（喀痰吸引・経管栄養・酸素管理・呼吸器管理等） 感染症予防の対応と事業所内の室温調整と換気・環境整備の徹底 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 五感の感覚刺激と様々な遊びの提供 感覚統合遊びと身体拘縮・変形の予防 姿勢の保持・適切なポジショニングの支援 リハビリマッサージによる緊張緩和 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊びと活動の提供 （音楽・楽器遊び・スノーズレン・バランスボール・トランポリン等の粗大運動・カレンダー製作・野菜スタンプ等の微細運動・手浴足浴・絵の具・ペイント遊び・スライム等の感触遊び・パラバルーン） P T等の専門的な関わり 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 感情や認知の発達 好き/嫌いの自己理解と自己選択のスキル獲得 季節イベントや行事の経験 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや行事イベントの体験・好きな事・楽しい事の発見と自発的にチャレンジする気持ちを育む支援 季節に合わせたイベントや行事の提供（お正月遊び・節分・雛祭り・プール遊び・ハロウィン・クリスマス等） 近隣の公園や公共施設（図書館・児童館）への外出・駅や博物館への遠足等のイベント提供 	
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 障害特性に合わせた意思の表出方法の獲得 他者からの関わり方の経験と言葉の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 視線や口の動き、表情または発声、手話やジェスチャーなどのサインによる非言語コミュニケーションで意思表示が増えるようなスタッフの関わりと遊びの取り組み 挨拶や簡単な単語の声かけに対して言葉が持つ概念の理解を促し、自発的な表出を引き出す関わり 	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 家庭以外の環境への順応と経験 職員との交流、お友達との関わりや仲間意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭とは違う居場所の一つとして本人が認識して慣れていけるような関わりと環境の配慮 遊びや活動を通じて、職員・他の子ども達への関わりを意識して過ごせる時間の提供 	
家族支援		親子関係・家庭生活の安定と充実に向けてご家庭と協働しながら、子どもの「育ち」や「暮らし」を支援する。また、相談援助の一環として、連絡帳や送迎時のコミュニケーションを密に行い、随時、困り事等に対応する。必要時に応じて利用日やお預かり時間の調整を行い、ご家族全体のサポート（レスパイト支援等）を行う。	移行支援	地域社会への参加・包摂（インクルージョン）の考え方に立ち、地域で行われている学習・体験・活動に対して子どもたちが自己選択し適切な支援が受けられるような居場所を提供する。 ライフステージの変化（サービス併用・就学・卒業等）に対して、移行先等との支援方針や支援内容の共有を行い、進路の選択における相談援助を行う。
地域支援・地域連携		相談支援事業所等の関係機関との連携を図りながら、支援に関わる情報の共通認識と理解を深めながら支援の方向性を統一する 近隣の公共施設（公園・子ども文化センター）の地域資源を活用する。	職員の質の向上	様々な職種に合わせた専門的な外部研修に参加し、知識・スキルの向上に努める（研修報告による事業所内研修の実施） 法人内の研修や子どもの特性に沿ったケース会議を実施し、個別支援の向上に繋げる。
主な行事等		季節を感じられる活動やイベント（お正月・節分・雛祭り・プール遊び・ハロウィン・クリスマス等）の提供 近隣散歩・遠足外出等（公園・博物館）の体験 地域施設との交流（図書館・子ども文化センター・消防署等）		